

そよかぜだより

第78号
発行 2008. 11. 16
毎月1回発行
NPO法人
障害者団体連絡会
そよかぜ

http://www.mmjp.or.jp/soyokaze/
連絡先
ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
つくしの家 578-0855
あおぞら 570-6110
エール 570-1233
資源回収時のご連絡は「ひばり園」へ

自立支援法の応益負担を問う

障害者30人が全国一斉提訴

10月31日に全国8地裁で30人の障害者が国と自治体を相手取り「応益負担一斉訴訟」を起こしました。「障害者自立支援法に基づき利用した福祉サービスに原則1割の自己負担を課すことは、法の下の平等を定めた憲法に違反する」と訴えています。

東京地裁で行われた会見では、代表の五十嵐さん(34)が説明しました。五十嵐さんの場合、収入は障害基礎年金が月8万2000円と市の福祉手当が月5000円のほか、通所授産施設の工賃1万5000円などがある。しかし親の支援で生活をつないでいるのが実情で、自己負担した後は手元にはほとんど残らないという事です。五十嵐さんは「本当は家族の支援を受けたく

ない。一番残念なのは作業所の仲間が辞めていったこと。さみしく、つらい」と語りました。司法の判断が注目されます。

政府の追加経済対策 介護報酬3%引き上げ
政府は、10月30日に発表した経済対策に介護報酬の2009年度改定での3%引き上げを盛り込みました。他産業に比べ人材確保が困難な介護従事者の月給を2万円上げるねらいです。介護業界は極端な人材不足が続いていて、老人ホームなどでは、多くの入居希望者が待機しているに

もかわならず、施設の中には人材不足のため空きベッドがある状態でした。月給2万円増でこの状態を改善できるかどうか。ただ、一般業界はいまだ不況になっているので、福祉業界の人材確保のためには有利になっています。

ご協力ありがとうございました。 10月の募金 150,320円

(順不同) 平成20年4月～10月の合計 388,651円

宮本 佐一	様	エイ・アイ	様	とまと美容室	様
宮本 文江	様	帯刀 進	様	田中 明子	様
高橋 典子	様	加部 妙子	様	山田 隆章	様
石川 誠一	様	清水 賢	様	村野 理子	様
井上 元雄	様	清水 知子	様	臼井 信行	様
大野 浩美	様	森田 勝	様	橋本 亜紀子	様
北野 浩美	様	川崎 利男	様	関村 理	様
宇津木 牧夫	様	古沢 奈保美	様	関村 英希	様
濱野 岬	様	鈴木 勝	様	永岡 智恵子	様
袴田 実	様	国本 昭治	様	渡辺 四郎	様
竹内 照夫	様	榎本 正代	様	関谷 博	様
清水 キヨ子	様	長谷川 キヌ子	様	松岡 竹子	様
尾又 恭子	様	角野 克子	様	角野 満壽子	様
石堂 孝一	様	平岡 知子	様	本間 正彦	様
小沢 達子	様	山影 幸子	様	田中 稔	様
下田 コウ	様	土屋 三枝子	様	桜沢 喜作	様
山下 暉枝	様	天満 喜代子	様	関谷 達夫	様
山崎 六雄	様	吉野 満里子	様	関谷 和子	様
阿部 郁子	様	アサノカワノ	様	平野 嘉子	様
大野 素子	様	野崎 敬雄	様	アバンバンデイツ	様

匿名様(106,531円)
ご連絡は、ひばり園へ
羽村市五ノ神2-6-7
042-578-0855
くれよん10月の売上げ
1,097,250円でした。
産業祭の売り上げ
250,020円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

NPO法人 そよかぜの 《資源回収》に

ご協力をお願いします
新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)
10月は37,200tでした。金額は868,923円となりました。
この収益は、NPO法人そよかぜの運営資金になります。
みなさまのご協力ありがとうございました。

12月は第3日曜日21日です。

大雨の場合は、次週の日曜日に順延します。

小さな世界の中にいる、さまざまな人たち

人の気持ちがすぐわかる人も

身近なところにいる隠れた聖の人

何年前か前に、新聞か雑誌で目にとまった記事がなぜか頭の隅に残っていて、ときどき折りにふれては、ふと思い出すことがあります。それは次のようなものです。

ひとりの記者が、四国八十八ヶ所の霊場を巡るお遍路さんの体験取材をするために、

自分もお遍路になって四国を歩いていたときのことです。

道中で、いろんなお遍路さんと道連れになり話を聞きました。あるとき、港湾で働いている老人のお遍路さんと道連れになりしばらく二人旅をします。記者が「どのような願

をかけて遍路をしているのですか」と聞いたたら、その人は「べつに自分が幸せになるなんてええこと願かけねえでもない。まあ世の中、自分ひとり幸せになっても何にもならねえだからね。みんなが良くなりや自分も良くなるんだからね」といったそうです。これ

を聞いて記者は「野に聖あり」という言葉があるけれど、たしかにここに聖がいると思っ

たという内容です。このことが、ひばり園で障害のある人と一緒に仕事をしていて、近頃なんとなく思い出されるようになりました。

ひばり園は小さな世界です。しかし障害があつて毎日ひばり園に通っている人たちの中には、その小さなひばり園が、世界のすべてのように感じている人もいます。とくに知的障害や精神障害の場合は、ひばり園と自宅以外の世界に關

わる機会も少なくなるので、外の社会への関心も弱くなりがちです。そのため「ひばり園が全世界」という感覚になつていくのでしょうか。

そうなると、ひばり園での出来事はほんのささいなことでも、その人にとっては重大問題になる場合があります。誰々さんの掃除の仕方はよく

ないとか、食べ終わった後の弁当箱の並べ方が間違っているとか、湯飲み茶碗の洗い方がどうのこうのとか、そのようなことで年齢的には中高年の大人が、顔色をかえて長々と口論することがあります。その場合に、言われた方も同じような感覚だと引き下がることなくやり合うので大さわざになつたりします。

ところが中には、決して人と争わない人もいます。障害が重くて会話も不自由ならそれも当然ですが、高い作業能力をもつていて仕事はなんでも上手にできるのに、その人が口論したり言い争いをして

いることは一度も見たことがないという人もいます。仮にここでその人をAさんとしませう。Aさんはまず自己主張をしない人です。あれだけ仕事ができるのだから、もつといたいことを言えればいいのになと思うほどです。

そのAさんと、作業能力では低いBさんがペアになって資源回収に行くことがあります。Bさんは回収作業が大好きな割には、残念ながら仕事はうまくできません。目の前

でAさんができばきをとを動いているのを見て自分も同じようにやりたいと思うのですが、そう思えば余計に焦つてうまきいけません。Aさんと同じぐらいのダンボールを持ち上げようとすると失敗してバラします。バラしたダンボールを真つ先に拾つてBさんに持たせてやるのがAさんです。Aさんの助けでうまくいったBさんは満足そうです。それを見てAさんもうれしそうです。

しかし職員としては、Aさんがそれをすると仕事はかからないので「Bさんに構わないでどんどんやって、遅くなるから」といいました。するといままで言い訳などしたことのないAさんが「でも、あの人はやりたいんだから、やらせてあげないと……」とさも申し訳なさそうにいいました。そう言われて職員は「そうか、自分は能率のことだけ考えて、Bさんの気持ちを考えなかつたなあ」と大いに反省したことがあります。

さてここでもう一人、Cさんが登場します。この人はAさんと違って、人がすること

に手きびしく注文を出さないではいられない人です。先に紹介したように、ささいなことでも口論をはじめめる人の中でも代表選手です。このCさんとペアを組むとBさんは悲惨なことになると思います。「おまえ、何やってんだ！」から始まつて「だめだ、あんなやつは！」と頭ごなしに決め付けます。だからBさんは怖がつてCさんから逃げ回っています。そのためBさんとCさんをペアにすることは厳禁になっています。

Cさんからすれば、自分よらずつと歳の若いBさんが自分の半分も運ばないのは許せないことなのです。たしかに山のように積まれたダンボールを一枚づつ運べば日が暮れてしまいます。できるだけとめて持ち運んでこそ仕事はかどります。しかしBさんにはまとも方が分かりません。何回もやり直しをしたあげくに少しかけ持つて運びます。

Bさんがもたもたしている間は他の者は待つています。だまつて見ていることはかなり忍耐力を要します。本人を退けて自分でやった方がずつと

早く終わるからです。気が短かく、肉体労働にかけては人一倍自信があるCさんにはそんな忍耐力はありません。

AさんとCさんとの違いは、単なる性格の違いよりもっと深いものがあるような気がします。Aさんは人の気持ちがすぐ分かる人です。そして自分のことより人の気持ちを大切にします。それは思いやりのある行動になります。Cさんにも人を思いやる気持ちがまつたくないわけではありません。人の立場に同情して助けてあげることがよくやっています。しかしそれをするにはまず自分の気持ちを先に出して、それが収まつてからでないといふことは考えられませんが、他人が自分の違いです。

野に聖ありとは、偉いお坊さだけが聖ではなく、身近なところにも隠れているものだという意味ですから、職員としては、遍路さんの境地にははるかに及ばないとしても、せめて身近に隠れている聖を見逃さず、大切にしよう心がけたいと思います。